

～佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『ドン・ジョヴァンニ』によせて～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 95

## 《ドン・ジュアン》

会期／2023年6月30日(金)～7月30日(日)

(※休館日はwebでご確認ください)

企画・構成／関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2023年7月14～23日、兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホールにて開催される佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2023『ドン・ジョヴァンニ』によせた展示をお届けします。原作は、スペインの貴族ドン・ファン(ファン)の伝説。数々の女性を虜にし、放蕩の末に地獄へと落ちる男の物語は、古くから芸術作品の題材にされてきました。オペラの初演は1787年、ロレンツォ・ダ・ポンテの台本、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの作曲ですが、バレエ版はそれに先立つ1761年、ガスペロ・アンジョリーニの台本・振付、クリストフ・ヴィリバルト・グルックの作曲で初演されました。

本展では、ウィーン国立歌劇場の100周年記念切手の他、1936年にバレエ・リュス・ド・モンテカルロによって初演されたミハイル・フォーキン振付のバレエ『ドン・ジュアン』をご紹介します。公演鑑賞のお供に、お楽しみください。

### バレエ『ドン・ジュアン、あるいは石像の宴』(1761)

初演：1761年10月17日、ウィーン：ブルク劇場

台本：ガスペロ・アンジョリーニ、ラニエロ・ディ・カルツァビーニ(モリエールの1665年の戯曲に基づく)

振付：ガスペロ・アンジョリーニ

音楽：クリストフ・ヴィリバルト・グルック

美術：ジョヴァンニ・マリア・クァリオ

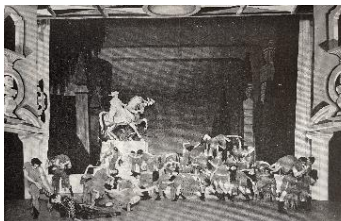
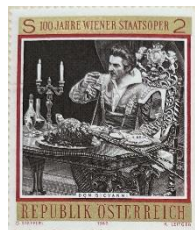
3幕のバレエ・パントマイム。かの伝説的恋愛遊戯者を主人公にした最初の舞踊作品であり、ジャン＝ジョルジュ・ノヴェールの提唱したバレエ・ダクシオン(物語を語ることを主眼とするバレエ)の古典的な例。単純で劇的な物語と、当時としては驚くほど悲劇的な結末によって好評を博し、40年以上レパートリーに留まったとされる。アンジョリーニ以降、18世紀にはヴィンチェンツォ・ガレオッティ版(ミラノ1766/コペンハーゲン1781)、シャルル・ルピック版(ロンドン1785)がある。グルックの曲を用いた新しい版には、ハインリヒ・クレラー版(ウィーン国立歌劇場バレエ1924)、ミハイル・フォーキン版(バレエ・リュス・ド・モンテカルロ1936)、レオニード・マシーン版(スカラ座1959)、ジョン・ノイマイヤー版(フランクフルト・バレエ1972)などがある。

### ミハイル・フォーキン振付バレエ『ドン・ジュアン』(1936)

バレエ・リュス・ド・モンテカルロ(ミハイル・フォーキン振付)『ドン・ジュアン』は、1936年6月25日、ロンドンのアルハンブラ劇場で初演された。衣装が火災で焼失したため作り直す必要があり、計画より2週間遅れの上演であったという。舞台は2層構造で、階段を挟んで幕が設置され、その開閉により場面転換がなされた(舞台美術・衣装：マリアーノ・アンドリュエ)。第1場では、道化師役の踊り以外はマイムを中心とする身振りが絵画的に展開され、物語を伝える全身の使い方が注目された。第2場ドン・ジュアン邸の祝宴は、男性の素早い足技や回転技に始まり、女性のスペイン舞踊を彷彿とさせる流麗な腕や腰の動きが特徴的であった。第3場では、暗い墓地での約24名による「怒れる者たち」の群舞が圧巻で、速度と強度を増しながら、地獄へと引きずり込まれるドン・ジュアンの死が、極めて劇的に描かれた。

### 出展資料

- ◆ ST-TR-3-2 切手/ウィーン国立歌劇場100周年/オーストリア/1969年
- ◆ SB-10 スクラップブック/バレエ・リュス・ド・モンテカルロ『ドン・ジュアン』/雑誌『ヴォーグ』/フランス/1939年(公演期間4月4日～5月14日)
- ◆ PRBRMCOF-40 バレエ・リュス・ド・モンテカルロ公式プログラム/イギリス：ドゥルリー・レーン王立劇場/1938年(ドン・ジュアン役のミシェル・パナイエフ)
- ◆ PRBRMCOF-41 バレエ・リュス・ド・モンテカルロ公式プログラム/イギリス：ドゥルリー・レーン王立劇場/1938年(『ドン・ジュアン』の舞台装置と衣装)
- ◆ BK-0022-bio 書籍/『フォーキン：バレエマスターの回想録』/ミハイル・フォーキン著/イギリス/1961年
- ◆ BK-0536-br 書籍/『唯一無二：バレエ・リュス・ド・モンテカルロ』/ジャック・アンダーソン著/イギリス/1981年
- ◆ BK-652-br 書籍/『ミハイル・フォーキン』/ドーン・リール・ホルウィッツ著/アメリカ/1985年



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用